

◆からくり伊賀七が架けた 柏とつくばの『かけはし』
◆奇抜！精密！重厚！ どうしてここに？

あらすじ

江戸時代、筑波谷田部の名主で天才発明家、飯塚伊賀七は3人の我が子を亡くしていたが、布施弁天鐘楼堂の設計を引き受けると我が子を授かった。伊賀七は渾身の設計を完成させる。だが谷田部は冷害飢きんで伊賀七は名主として離れられず、建築現場に立ち会えない。そこで藤代の棟梁峯蔵を遣わすが、柏の棟梁三郎兵衛は要らぬ世話だと難色を示す。果たして、奇抜精密重厚たるからくり伊賀七の奇跡の布施弁天鐘楼堂は完成するのか？ 柏と布施に夢のかけはしは架かるのか・・・。

キャスト



飯塚伊賀七
向後 文大
(松戸市民劇団)



お利勢
高野 培美
(伊賀七座)



三郎兵衛
沼尻 渡
(伊賀七座)



お藤
石上 瑠美子
(松戸市民劇団)



峯蔵
中村 壮志
(伊賀七座)



東海寺住職(昭和)
羽田 芳夫
(伊賀七座)



東海寺住職(昭和)
鈴木 淳義
(松戸市民劇団)



畑里かまぞう
長岡 由紀夫
(劇団未来半島青森)



太田平太
山下 宏
(劇団未来半島千葉)



鍋 渡郎
渡辺 治久
(伊賀七座)



村人
竹田 京子
(伊賀七座)



太鼓奏者
片平 浩
(伊賀七座)

スタッフ

原作：羽田芳夫 潤色脚本：北野 茨 作曲：京野 迎 作詞：北野 茨 歌：姿月沙羅 振付：竹田 京子
音効：飯島 和雄 舞台美術：沼尻 正芳 照明：久我 勉 (谷田部公演) ステージライティング (柏公演)
主催：伊賀七座 (つくば市) 共催：布施弁天東海寺 (柏市)
後援：柏市 つくば市 柏市観光協会 松戸市観光協会
協力：NPO 法人松戸市民劇団 つくば市谷田部市街地活性化協議会 つくば市谷田部内町区長会

公益財団法人 三菱UFJ信託地域文化財団助成事業 公益財団法人 大阪コミュニティ財団助成事業

公演日 2023年2月26日 (日)

柏市民文化会館 小ホール 電話 04-7164-9141

開場 18:00 開演 18:30 終演 20:00

大人2000円 高校生1000円 小中学生500円

幼児入場不可 ※当日券は500円増し

前売り券取り扱い

(HP、電話申し込みは当日会場渡し)

・伊賀七座

HP：<https://wawayatabeya.jimdofree.com>

FAX：029-839-1006

・布施弁天東海寺

FAX：04-7131-7317

・NPO 法人松戸市民劇団

TEL：090-8101-9347

FBでも情報発信中！【松戸市民劇団・劇舎】と検索してください

・柏市観光協会

HP：<https://kankou.kashiwa-cci.or.jp>

TEL：04-7162-3315

・松戸市観光協会

HP：<https://www.matsudo-kankou.jp>

TEL：047-703-1100

☆伊賀七座とは？☆

2018年暮れに町おこしの一環として、劇作演出家北野茨を座長に迎えて設立。地域住民総出で出演制作協力、3年間7公演と破竹の勢いで駆け抜け、21年にはコロナ禍を打ち払う大ホール公演も実現。地域の人々を励まし続けてきました。住民・個人の協力はもとより、自治体、企業、6財団法人から助成を得ながら進む、今注目の町民芝居劇団です。来年は昔日の地元映画館をめぐる、昭和の人々のバイタリティとペーソスを舞台に描きます。

☆松戸市民劇団とは？☆

1979(S54)年、松戸市民交響楽団演劇部として発足。市の教育委員会がおこなう青年講座の受講者から団員を募り、翌年に第1回公演「待合室の春」を実施して以来、今年7月の「人生いろいろ・ハローナイツ無職旅情編」が第90回公演となりました。現在の団員は11人、松戸市日暮に事務所兼稽古場兼ミニシアターのアトリエ「劇舎(しばいや)」を持っています。2003年にNPO法人格を取得。代表は創立以来変わらず石上瑠美子が務めています。